

環境省 持続可能な開発目標（SDGs）活用した
地域の環境課題と社会課題を同時解決するための民間活動支援事業
＜平成31年度 事業計画＞

「環境・農業・観光が調和 した岩室温泉街の持続的な まちづくり」

一般社団法人おらって新潟市民エネルギー協議会

①取組で目指す地域像

- 「SHE」が、多様性を包括する地域のプラットフォームとして機能している。
 - 一人との関わりを結ぶことによるセーフティネットとしての機能（対話の場づくり、窓口、ゆるやかなネットワークなど）
 - 新規事業開設や既存の地場産業の支援（マッチングやエンパワーメント、基金など）
- 経済と自然が調和した産業が当たり前になり、仕事でのつながりが増え、意識と誇りをもって働く人が増える
- 「SHE」が介入する取り組みが、岩室（旧西蒲原地域）の環境、農業、観光、福祉、食、教育が調和した地域資源循環型地域、「田園型環境都市にいがた」のモデル地域での取り組みとして認知度が高まり、観光客数や交流人口が増えている。

2022年度末
地域の状態

- 2018年度で見てきた、里山の地域資源と福祉と文化(アート、音楽)、地場産業(農業、温泉街)との相乗効果を狙った、小さなプロジェクトの実践が地域内の連帯で展開されている
- 上記の地域連帯型の取り組みを通じ、地域内外の関係者を中心に、地域循環共生のイメージを共有できるようになる
- 岩室地域の里山資源を使った地域資源循環ビジネス構想がみえてきている
- 西蒲原地域内で、「開かれた小さな対話」が自発的積極的に開かれたり、声掛けがされるようになってきている



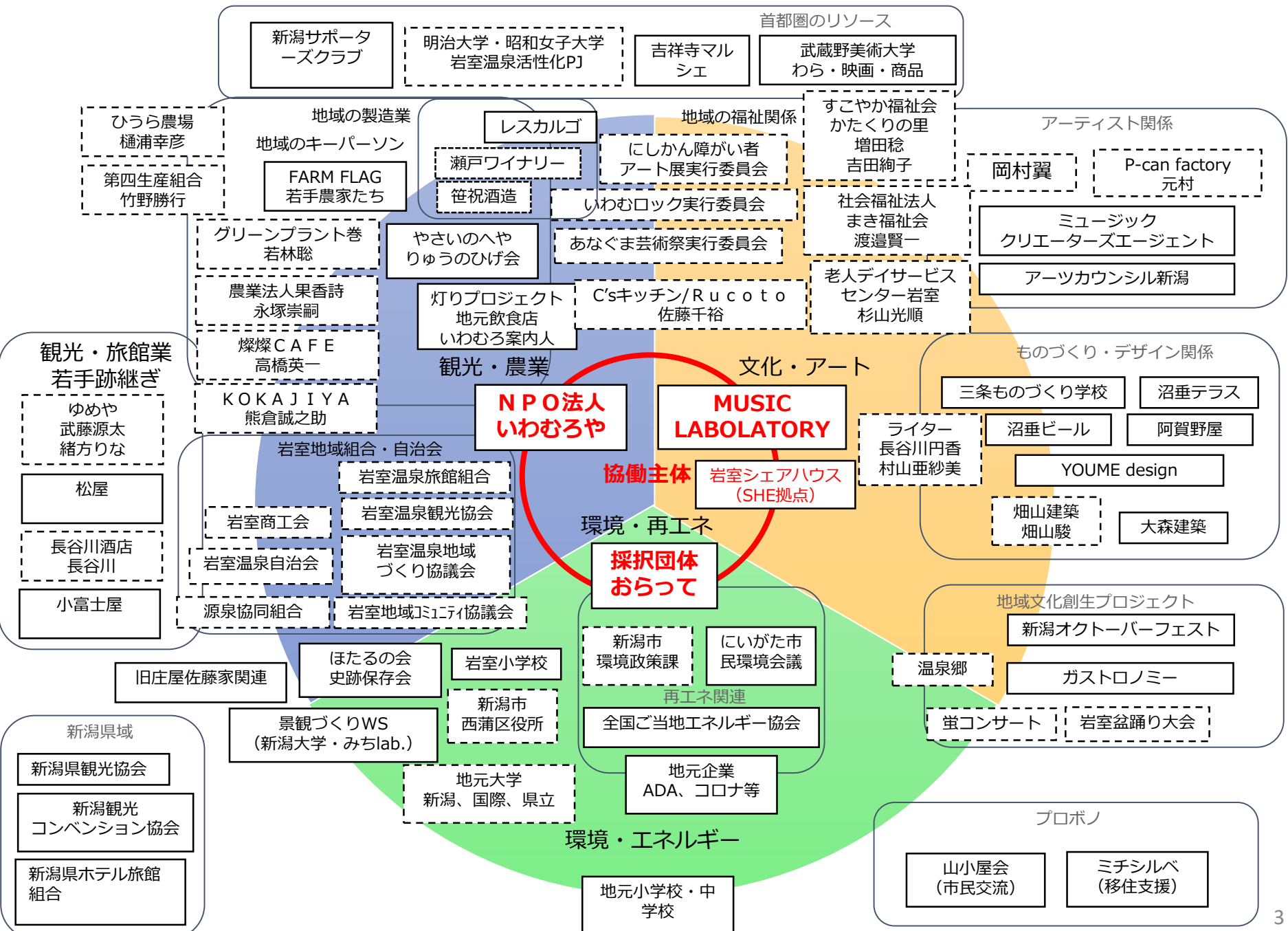
2019年度末
地域の状態

- 多様なステークホルダーが、この取り組みに関心を持ち、それぞれの期待感を持っている状況。
 - 若手農業従事者の集まり「FARMFLAG」との信頼関係が築けた
 - あなぐま芸術祭実行委員会とも関係し、福祉関係者と共に地域課題解決にむけたイベントや事業を進めていく基盤ができた
- 地域資源の活用へのニーズはあるが、例えば地域再生可能エネルギーに対する関心はあるが、具体的にどう生活や産業と結び付けたら良いかというイメージは持てないなど、環境・経済・社会のつながり(豊かさとは何か)について具体的なイメージは持てていない状況。



2018年度末
地域の状態

②運営体制の整理 (ステークホルダーとの関係性)



③ 2019年度末までの到達目標

項目	目標 (課題に対してどの程度解決に繋がる取組が進められるか)
<p>【取組課題①】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域における再生可能エネルギーの理解促進が進まない 	<ul style="list-style-type: none"> ・住環境や温泉旅館（飲食店）の冷暖房における省エネやCOOLCHOICEなどの検討から、環境やエネルギーによる関心を高める ・FARMFLAGチームメンバーにさらに具体的なプロジェクトを検討し、再生可能エネルギーが農業や食と結びつく点を検討する。
<p>【取組課題②】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源の豊かさが見えづらくなっていて、地域循環型社会が構築できない 	<ul style="list-style-type: none"> ・岩室の未来を考えるシンポジウムにて、2018年度に出会った「農業」「福祉」「観光」「環境」「食」で活躍されている方と共に公開対話をし、来場者と共に「豊かさ」や地域循環社会をイメージし、共有することを試みる。
<p>【取組課題③】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地場産業・自然環境整備と地域リーダーの担い手不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・岩室および西蒲原の山林資源の勉強会・調査と対話ダイアログを通じて、①里山が地域に存在することの価値を再認識する、②里山をどう活用することで保全に繋がるかアイデアを募る ・文化(アート、音楽)のジャンルを活かし、子供たちや保護者、地域の若者が気軽に参画できる土台を醸成する
<p>【取組課題④】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地場産業の分断による地域の持続可能性の低下 	<ul style="list-style-type: none"> ・「2018年の対話」の芽を小さなプロジェクトへのアクションに変えエンパワメントする 例) 福祉×アート（音楽）×いわむロックFESTIVAL2019 福祉×観光×あなぐま芸術祭 環境×農業×食×カルチャー（スポーツ）×食文化推進プロジェクト

④ 課題解決に向けたスケジュール（平成31年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業全体の予定	連絡会								連絡会		全国報告会	
【取組課題①】 ・地域における再生可能エネルギーの理解促進が進まない				住環境（健康）× 再エネの勉強会							「おだやかな革命」映画上映 等を行うセミナー	
【取組課題②】 ・地域資源の豊かさが見えづらくなっていて、地域循環型社会が構築できない			森林調査 朝日航洋	温泉旅館の 再エネ活用検討	ピア万代出展	いわむろつくフェスティバル	コピス吉祥寺出展		大望年会			
【取組課題③】 ・地場産業・自然環境整備と地域リーダーの担い手不足 【取組課題④】 ・地場産業の分断による地域の持続可能性の低下			たき火ダイアログ	SHEプロジェクトキックオフ	たき火ダイアログ				ソーシャルビジネス勉強会		たき火ダイアログ	
			動画または人物名鑑制作									

⑤ 2カ年事業計画（H30.8）からの変更点

計画の変更点（項目）	変更した理由
<p>【取組課題①】 ・地域における再生可能エネルギーの理解促進が進まない</p>	<p>当初目標 ◇地域資源や自然資本を活用したビジネスプランが策定されている 変更目標 ◇経済と地域資源や自然が調和した仕事や仕事でのつながりが増え、意識と誇りをもって働く人が増える 理由：地域に元からある組織や団体が、個々のプロジェクトや事業を、そのような視点で捉えなおすことで、持続的な循環と共生を生み出すことが可能だと考えた。</p>
<p>【取組課題②】 ・地域資源の豊かさが見えづらくなっていて、地域循環型社会が構築できない</p>	<p>当初目標◇岩室温泉街における地域循環型社会のモデルイメージの完成し、地域住民および関係者と共有され、それに基づいた活動や事業の芽が生まれる →岩室地域内外のメンバーで形成されるプロジェクトチームが形成される 変更なし</p>
<p>【取組課題③】 ・地場産業・自然環境整備と地域リーダーの担い手不足</p>	<p>当初目標 ◇岩室地区の住民が、地域の担い手作りの重要性に気付き、地域外の人とも協働しながら、具体的な支援策を検討し始める 変更なし</p>
<p>【取組課題④】 ・地場産業の分断による地域の持続可能性の低下</p>	<p>当初目標 ◇課題①～③への取組の中で、地域の現状を把握し、より効果的に本事業に結びつける方策を考える 変更目標 ◇課題①～③への取組みの中で、地域の現状を把握し、対話の機会をつくることで本事業に結び付ける方策を考える。</p>
	<p>「未来マップ」の作成が、地域資源を活用した地場産業の展開につながる手段としてよいと当初想定していたが、既存のプロジェクトや組織、ネットワークをつなぎ実現可能な小さなプロジェクトを実行し、実績を残していくことが人材不足の地域にとって最も効果的なエンパワーメントとなる(課題①、②)</p>

⑥ その他補足事項

■ 事業を進める上での課題やリスクとその対策

- ・ 個々の取りんでいるビジネスや活動とを連動することができるか（その可能性を共に探ることにも価値があると考える）

■ その他、留意事項などがあればお書きください

- ・